

6 - 7 1985年10月18日能登半島沖の地震

The Earthquake off the Noto Peninsula, October 18, 1985

気象庁地震予知情報課

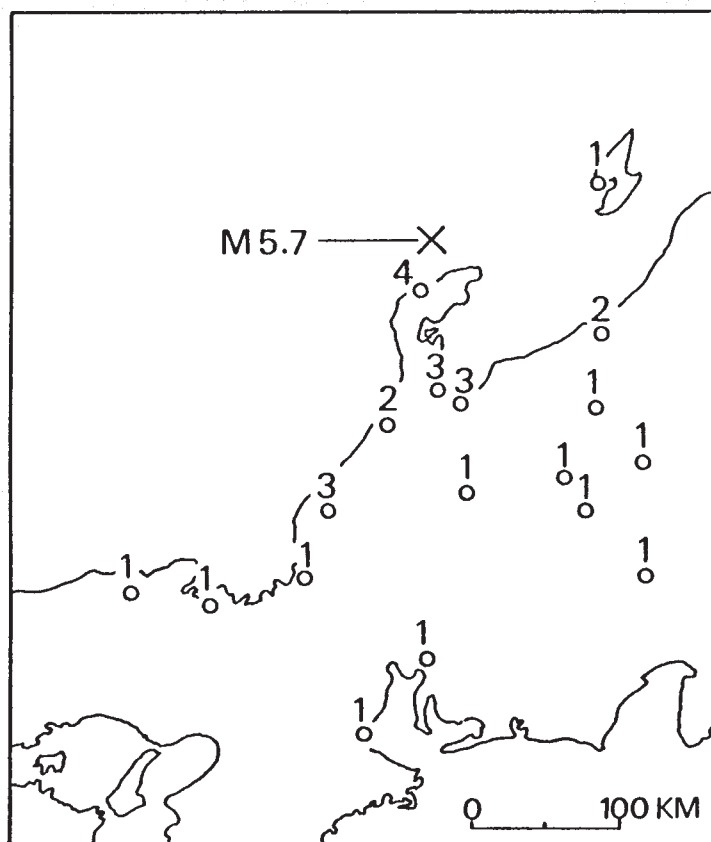
Earthquake Prediction Information Division

Japan Meteorological Agency

1985年10月18日12時22分に能登半島沖でM5.7の地震が発生し、輪島で震度4を観測したのをはじめ中部地方から近畿地方の一部にかけて有感であった。震源は $136^{\circ}55'.8E$, $37^{\circ}39'.6N$, $H=19km$, (OT= $12^h22^m21.5^s$)と決定された。第1図に震度分布を示す。

第2図はこの地震のメカニズム解である。この地震は主圧力軸北西-南東の逆断層型である。

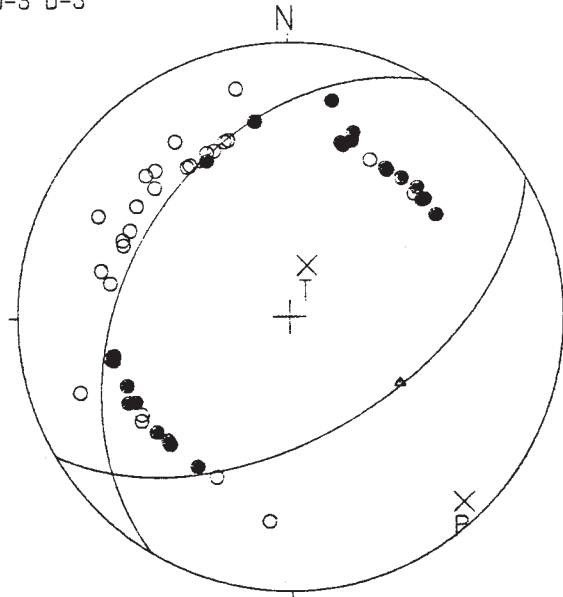
第3図は1926年から1985年までに能登半島およびその周辺に発生したM4.0以上の地震の震央分布である。この図には、1885年から1925年までのM6以上の地震および被害地震(宇津, 1982)を×印で加えてある。能登半島付近で過去に発生した主な地震をみると、半島南部で1892年12月9日と11日にそれぞれM6.4, M6.3の地震が、1933年9月21日にM6.0の地震があった。また、半島の先端部で1896年4月2日にM5.7の地震があった。



第1図 1985年10月18日能登半島沖の地震の震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake off the Noto Peninsula, October 18, 1985.

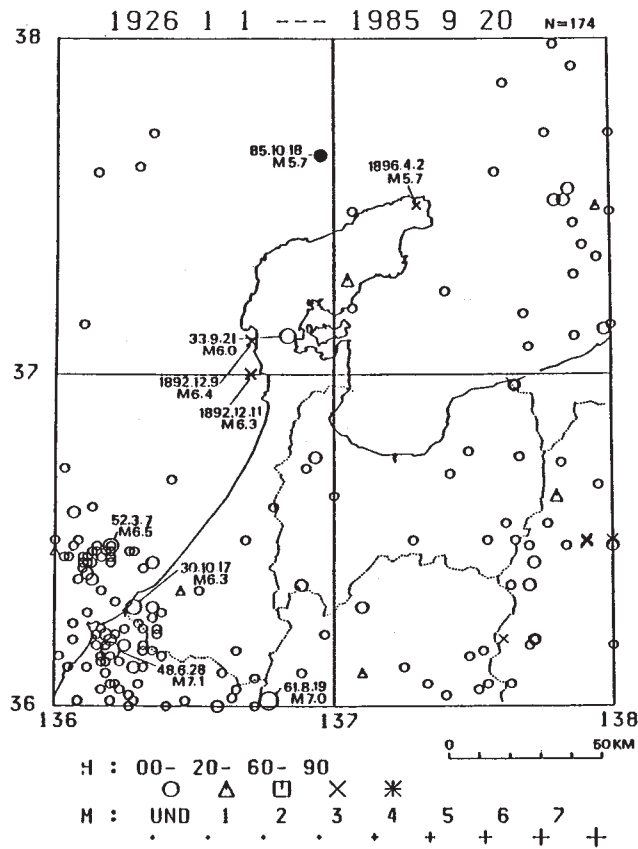
18 OCT. 1985 12 22
 LON.=136 59 LAT.=37 40 H=20 MAG.=5.7
 DIP DIR.=30 DIP DIR.=239 DIP=39
 P AZ=223 IN=62 T AZ=340 IN=16
 TYPE REVERSE
 D-S D-S



第2図 1985年10月18日能登半島沖の地震のメカニズム解（上半球投影）

Fig. 2 Focal mechanism of the earthquake off the Noto Peninsula, October 18, 1985 projected on upper hemisphere.

● up ○ down



第3図 1926年～1985年能登半島およびその周辺の地震活動（ $M \geq 4.0$ ）

Fig. 3 Earthquake epicenters with magnitude larger than 4.0 in and around the Noto Peninsula for 1926 - 1985.